

実習内容
ならびに
スケジュール

ペインクリニック部

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション 緩和ケアプレゼンテーション	佐藤（和） 佐伯	9：45	ペインクリニック部医局(1号館5階)
	外来見学	高雄・石本・宮本	10：00	ペインクリニック外来(2号館2階)
	透視下ブロック見学→レポート作成	高雄・石本・宮本	13：30	TVセンター 5（1号館2階）
	ミニレクチャー	高雄	16：00	ペインクリニック部医局（1号館5階）
火				
水				
木	（レポート作成）			
	心理テスト	佐藤（和）	14：00	ペインクリニック部医局(1号館5階)
	認知行動療法	吉田	15：00	ペインクリニック部医局(1号館5階)
金	手技の練習	高雄・石本・佐藤（史）	10：00	ペインクリニック外来（2号館2階）
	総括	高雄	13：30	TVセンター 5（1号館2階）
	（レポート提出締切）			（Moodleにてアップロード）

◎ 診療科名： ペインクリニック部

◎ 責任者氏名： 高雄 由美子 教授

◎ 指導教員氏名： 高雄 由美子 教授

◎ 実習概要

1. カンファレンス、2. 慢性疼痛患者の診察、3. 模擬実習（腰椎穿刺）、4. レポート作成、5. その他各種処置・治療の見学などを行い、慢性疼痛をもつ患者さんや緩和ケアを必要とする患者さんの診察・治療やケアの立案ができることを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 急性疼痛と慢性疼痛を鑑別できる。
- ・ 侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛を鑑別できる。
- ・ 慢性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる。
- ・ 慢性疼痛の集学的治療について理解できる。
- ・ がん性疼痛の的確な診断と治療の立案ができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・ 4年次の「臨床疼痛学」をよく復習すること（2日間）
- ・ 2年次の薬理学の鎮痛薬を復習してくること（3時間）

◎ 評価方法

(知識、技術、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が十分ある。	痛みに関連する生理学、解剖学の知識がある程度ある。	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が不十分である。	痛みに関連する生理学、解剖学の知識が足りず実習継続が困難である。
	鎮痛薬の知識が十分ある。	鎮痛薬の知識がある程度ある。	鎮痛薬の知識が不十分である。	鎮痛薬の知識が足りず実習継続が困難である。
技能	模擬実習で患者管理を的確に行える。	模擬実習で患者管理をある程度行える。	模擬実習で患者管理が不十分である。	模擬実習で患者管理ができない。
	医学知識を臨床応用できるレベルに達している。	医学知識をある程度は臨床応用できる。	医学知識を臨床応用するには不十分なレベルである。	医学知識を臨床応用できない。
態度	実習に積極的に参加し、周囲とのコミュニケーションが良好にとれる。	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	実習内容に興味を示さない。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

- ・レポート課題を提出する。
- ・初日と最終日にミニテストを行う。

◎ 中間評価とフィードバック

実習最終日にミニテストの解説と総括を行う。

◎ 注意事項

- 週によってスケジュールが変更になる場合があるため、事前に Moodle2 にて日程を確認すること。
- オリエンテーション時の注意事項
1号館5階ペインクリニック医局に集合すること。
筆記具のみ持参し、**荷物を持たず**に集合すること（診療の妨げになるため）。
- 認知行動療法の講義はMoodleにレジュメがあるので、各自ダウンロードまたは印刷して持参すること。
- 遅刻や欠席の連絡について
当日 9時00分以降にペインクリニック部医局 0798-45-6819 まで連絡すること。
- 課題のレポートは Moodle より用紙をダウンロードし、記入後 PDF に変換しアップロードすること（締切：**実習最終日 17 時 00 分まで**）。
- レポートは痛みの原因ならびに治療について考察すること。
箇条書きではなく文章で作成すること（評価に影響）。